

(様式第4号)

上田市真田中央公民館運営審議会 会議概要

1 審議会名	上田市真田中央公民館運営審議会
2 日時	平成25年7月31日 午後7時00分から午後8時20分まで
3 会場	真田中央公民館 小会議室
4 出席者	芳沢孝夫会長、岩下直美副会長、竹内秀行委員、小林晴美委員、武捨敦夫委員
5 市側出席者	柳沢公民館長、春原公民館次長、中村統括主査、小林社会教育指導員
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成25年8月1日

協 議 事 項 等

- 1 開 会 (春原次長)
- 2 あいさつ (柳沢公民館長)  
(芳沢会長)
- 3 協議事項
  - (1) 真田地域における学校支援の取り組みについて
    - ・資料に沿い、春原次長から概要を説明
    - ・以降、協議
    - (委員) 学校へ入るのは誰でも良いのか。資格は必要ないのか。
    - (事務局) 誰でも良い。資格も必要ない。学校側は、とても助かっている。
    - (委員) 校内の敷地面積が広いので、環境整備ボランティアはとても助かる。
    - (事務局) 地域の人にとって、学校は入りにくいとされているので、初期段階は学校と一緒に行くなど、公民館が学校とボランティアのつなぎ合わせを行なう。審議委員さんも声掛けをしていただき、ボランティアの輪を広げてもらいたい。
  - (2) 平成25年度公民館事業について
    - ・資料に沿い、春原次長から講座などについて、小林指導員から青少年・人権同和教育の概要を説明
    - ・以降、協議
    - (委員長) 人権・青少年関係の事業が多くなっている。
    - (委員) 人権同和教育となっているが、人権同和学习ではないか。教育となっていれば、何をやっていいのかわからない。同和という言葉が入れば、みんな何も言わなくなる。
    - (事務局) 同和は難しい問題・言葉であると認識している。しかし、上田市では、同和教育の重要性から「同和」ということばも入れている
    - (委員長) 人権同和教育の原点は、同和教育である。
    - (事務局) 講座は、「地域の人々が地域を知る」「地域の自然や人を生かす」ため、真田町史をベース組み立てている。
    - (委員) 真田地域だけでなく、3回シリーズで宿場を歩くなど他地域に行くこともあったほうがいいのか。
    - (事務局) 真田地域には街道が多いので、それに関連付けることも可能である。
    - (委員) 子ども達は、車社会の影響もあり昔に比べ1日何千歩単位で歩かなくなっている。
    - (事務局) 真田地域は、人が歩いている姿をあまり見ない。車に乗れば乗るほど、地域を見なくなってしまう。
    - (委員長) 数多くの事業があるが、しっかりと進めていただきたい。
  - (3) その他  
特になし
- 4 閉 会

